



J. FRONT RETAILING

2023年6月15日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表執行役社長 好本 達也
 お問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション室
 TEL 03-6865-7621

2023年5月度 J.フロント リテイリング 連結売上収益報告（IFRS）

1. セグメント別売上収益（売上高）（対前年増減率：％）

	売上収益(IFRS)		(参考)総額売上高	
	5月度	上期累計	5月度	上期累計
百貨店事業	9.3	11.0	11.3	14.6
SC事業	7.1	8.4	13.0	15.4
デベロッパー事業	56.6	24.3	61.0	27.0
決済・金融事業	▲ 10.9	2.6	▲ 10.9	2.6
その他	▲ 8.6	4.0	▲ 8.5	3.9
連結合計	17.1	14.1	15.3	16.1

※注） 1. 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。
 2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業」の純額取引をテナント取扱高（総額ベース）に置き換えて算出しています。
 3. 各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。
 4. 津田沼PARCOは、2023年2月末日をもって営業を終了しました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 5月度の売上高は、日曜日が対前年▲1日であったものの、ゴールデンウィーク期間の売上が好調に推移したことに加え、ラグジュアリーブランド、美術・宝飾品も好調を継続し、化粧品が前年の3割増と大きく伸ばしたことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年11.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同11.3%増となった。
- 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高は、対前年375.5%増(客数同2778.9%増、客単価同▲83.5%減)であった。大丸松坂屋百貨店の国内売上高(免税売上の本年・前年実績を除く)は対前年5.8%増であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の6月度の既存店売上(法人・本社等を除く)は、ラグジュアリーブランド、化粧品が大きく売上を伸ばし、訪日外国人売上も加速感を増していることなどから、14日までの累計で対前年14.2%増(対2019年度3.1%増、対2018年6.2%増)、国内売上高は同6.3%増(対2019年度5.5%増、対2018年度7.8%増)で推移している。
- また免税売上高は対前年511%増(対2019年度▲18%減、対2018年度▲9%減)で推移している。

2) SC事業

- 5月度のテナント取扱高は、ゴールデンウィークに合わせて開催したイベントや展覧会、春におこなった改装などが功を奏して入館客数が増加したこと、外国人訪日客の利用が増加したことにより、全店舗計(既存店)で対前年17.8%増となった。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、J.フロント建装が、ホテル内装工事が好調であったことを主因に、パルコスペースシステムズが店舗改装関連工事の好調を主因に大きく売上を伸ばしたことにより、大幅増収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、ポイント費の増加による売上収益の減額増により減収となった。
- その他は、卸売業の大丸興業が、電子部品、産業資材の好調などにより増収となり、全体でも増収となった。

【お問合せ先】 J.フロントリテイリング株式会社 コーポレートコミュニケーション室
 IR推進担当 TEL 03-6865-7621
 グループ広報担当 TEL 03-6865-7616

2023年5月度 百貨店事業 営業報告(総額売上高)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	5月度		上期累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	33.2	56.9	34.4	56.3
大丸 梅田店	19.3	33.2	20.5	32.6
大丸 東京店	31.0	28.3	35.7	42.5
大丸 京都店	10.9	5.7	15.6	10.3
大丸 神戸店	4.1	7.7	8.9	8.8
大丸 須磨店	2.3	▲1.7	1.5	▲0.9
大丸 芦屋店	3.4	0.0	2.5	0.0
大丸 札幌店	9.1	18.6	16.4	21.9
大丸 下関店	▲12.4	▲3.7	▲7.4	▲3.6
松坂屋 名古屋店	8.4	5.4	10.7	7.2
松坂屋 上野店	6.3	19.7	6.4	24.9
松坂屋 静岡店	▲3.6	▲10.2	3.0	1.0
松坂屋 高槻店	▲4.7	0.8	▲4.3	1.5
店 計	13.3	18.8	16.8	22.7
法人・本社等	▲18.5	-	▲16.3	-
大丸松坂屋百貨店合計	11.6	18.8	14.9	22.7
うち商品売上高	11.6	-	15.1	-
うち不動産賃貸収入	11.1	-	9.7	-
博多大丸	9.3	13.9	13.1	14.9
高知大丸	4.2	▲3.0	▲0.6	▲7.3
百貨店事業合計	11.3	18.2	14.6	21.9

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	5月度	上期累計
紳士服・洋品	▲5.8	▲2.4
婦人服・洋品	10.3	17.9
子供服・洋品	3.4	7.8
その他の衣料品	4.5	4.5
衣料品計	7.9	14.6
身 回 品	7.9	13.3
化粧品	29.7	27.1
美術・宝飾・貴金属	19.5	21.6
その他雑貨	18.3	30.3
雑 貨 計	23.6	24.5
家具	5.4	5.0
家電	27.7	25.9
その他の家庭用品	▲4.9	1.9
家庭用品計	▲2.1	2.9
生 鮮	4.2	2.2
菓 子	18.7	17.7
惣 菜	6.9	10.3
その他食料品	0.9	6.0
食料品計	9.5	11.2
食堂・喫茶	22.3	31.6
サービス	17.8	14.9
そ の 他	23.4	▲1.6
合 計	11.6	15.1

3. 営業概況

- ・ 婦人服・洋品では、ワンピース、ニットがよく動き、ラグジュアリーブランドも好調を持続した。紳士服・洋品は品番移管の影響でマイナスとなったが、スーツ、パンツが堅調であったほか、アウトドア用品が大きく伸ばした。身回品では国内旅行需要の増加やインバウンド効果により旅行用品が大きく伸ばした。雑貨ではマスク着用の減少などにより化粧品が大きく伸ばしたほか、美術・宝飾品も好調を持続した。食料品では、ゴールデンウィークのおみやげ需要などにより洋菓子が好調であった。食堂・喫茶は、人流の回復により大きく売上を伸ばした。

2023年5月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	5月度	上期累計
札幌PARCO	31.2	34.8
仙台PARCO	15.7	18.2
新所沢PARCO	▲11.1	▲8.8
浦和PARCO	8.9	9.2
池袋PARCO	11.4	18.0
PARCO_ya上野	27.4	31.5
ひばりが丘PARCO	6.9	7.6
吉祥寺PARCO	17.4	23.2
渋谷PARCO	78.2	62.6
錦糸町PARCO	18.2	22.1
調布PARCO	5.8	9.1
松本PARCO	▲1.7	▲1.1
静岡PARCO	▲8.3	▲4.9
名古屋PARCO	▲0.3	8.5
心齋橋PARCO	56.6	52.7
広島PARCO	▲1.0	7.5
福岡PARCO	23.7	26.1
全店計	13.3	15.6
既存店計	17.8	20.4

※注) 1. 津田沼PARCOは、2023年2月末日をもって営業を終了しました。

2. 既存店計には、津田沼PARCOの前年実績値を含みません。

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計	
	5月度	上期累計
衣料品	8.2	10.6
身回品	12.5	15.4
雑貨	22.9	21.2
食品	▲3.4	▲3.1
飲食	21.6	28.1
その他	16.1	24.2
合計	13.3	15.6

3. 営業概況

- ・5月度のテナント取扱高は、ゴールデンウィークに合わせて開催したイベントや展覧会、春におこなった改装などが功を奏して入館客数が増加したこと、外国人訪日客の利用が増加したことにより、全店舗計（既存店）で対前年17.8%増となった。
- ・アイテム別取扱高では、国内外の観光客から需要の高まりがあった飲食が対前年21.6%増、アニメ・ゲームコンテンツを含む雑貨が同22.9%増と伸長した。